

賢く 優しく 遅しく



# 志木三小だより

学校運営協議会スローガン「ともに愛そう わがまち わが学校」

志木市立志木第三小学校

令和5年1月10日

志木市柏町3丁目2番1号

TEL 048-471-1062

## 新しい年を迎え～飛躍の年に～

校長 関根 久美子

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の始まりに、私の好きな詩人の「坂村真民」の詩を紹介します。坂村真民は「念ずれば花開く」という言葉を残しています。多くの詩を残していますが、作品に一貫して表れているのは「人はいかに生きるのか」という「生き方の信条」でした。

### 鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ

鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ  
怒濤(どとう)の海を 飛びゆく 鳥のように 混沌の世を 生きねばならぬ  
鳥は本能的に 暗黒を突破すれば 光明の島に着くのを知っている  
そのように人も 一寸先は闇ではなく 光であることを 知らねばならぬ  
新しい年を迎えた日の朝 わたしに与えられた命題  
鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ

### 七字のうた

よわねをはくな くよくよするな なきごとというな うしろをむくな  
ひとつをねがいひとつをしとげ はなをさかせよ よいみをむすべ  
すずめはすずめ やなぎはやなぎ まつにまつかぜ ばらにばらのか

生きるには「覚悟」が必要です。子供であってもです。自分の人生は自分で決めていかなければならないからです。「親」や「先生」「人生の先輩たち」は支援をしてくれるし、助言もしてくれます。心から「幸せに生きるために」を話してくれます。耳を傾け、心を開いて、感謝の気持ちをもって素直に「聞く」必要があります。けれども「受け入れる」「取り入れる」かどうかは、自分で決めなければなりません。「勇気をもって受け入れない」選択をすることも、「幸せに生きるために」自分で必要だと思ったら、正しいことです。自分で決めたことは、うまくいなくても自分で責任を取ることができるし、なぜうまくいかなかったかを探することもできます。やり直すことも自分の責任で行うことができます。何よりも「幸せか不幸せか」は自分でしか決められません。高額な食べ物を食べた時、他人から「おいしいでしょ」と言われても「おいしいかどうか」は「値段」「他人の味覚」ではなく「自分の味覚」が決めることです。「幸せか不幸せか」は「親の価値観」ではなく「自分の価値観」です。だからこそ、「一寸先は闇」ではなく「その先にある光」を目指して「覚悟をもって生きねばならぬ」なのです。

あるがままの自分を見つめ、前を向いて進まなければなりません。飛躍の年にしましょう。